

平成24年2月21日  
九州地方整備局  
川辺川ダム砂防事務所

## 大規模土砂災害に備えた 災害対策車両操作・通信訓練を行います

平成23年3月に発生した東日本大震災や9月に発生した紀伊半島での土砂災害を受け、国土交通省九州地方整備局では災害時の対応能力向上に向けた取組を進めています。

国土交通省では、火山噴火災害や大規模土砂災害時の緊急対策用として、各種の災害対策車両を配備・保有しており、九州地方整備局においても、九州技術事務所及び各事務所においてこれらの対策車両を順次配備・保有しているところです。

川辺川ダム砂防事務所では、大規模土砂災害が発生した場合に、現地の状況を速やかに把握し、九州地方整備局本局を含めた関係機関へ情報を円滑に伝達していくため、これらの災害対策車両操作・通信訓練を実施するものです。

今回の訓練の結果を踏まえ、来年度は周辺自治体等との合同訓練を行っていく予定です。訓練の日程及び概要は、別添を参照してください。

訓練時の取材は可能です。

### 記

○日 時： 平成24年 2月23日（木）

① 13:30～14:30 昼間監視訓練

② 17:30～18:30 夜間監視訓練

※荒天時等災害が予想される場合は中止する場合があります。

○場 所： 五木村頭地区

○操作訓練： 情報収集車、衛星通信車、照明車、気球空撮装置、  
Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）など

#### 【お問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所  
技術副所長 西 保幸  
工務第二課長 杉町 英明  
連絡先:0966-23-3174(代表)

# 災害対策車両操作・通信訓練実施概要

## ①昼間監視体制を対象とした操作訓練

○ 日 時

平成24年 2月23日(木) 13:30～14:30

○ 場 所

五木村頭地地区(別添地図参照)

○ 対象車両及び使用機器

情報収集車、衛星通信車、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)、気球空撮装置

## ②夜間監視体制を対象とした操作訓練

○ 日 時

平成24年 2月23日(木) 17:30～18:30

○ 場 所

五木村頭地地区(別添地図参照)

○ 対象車両及び使用機器

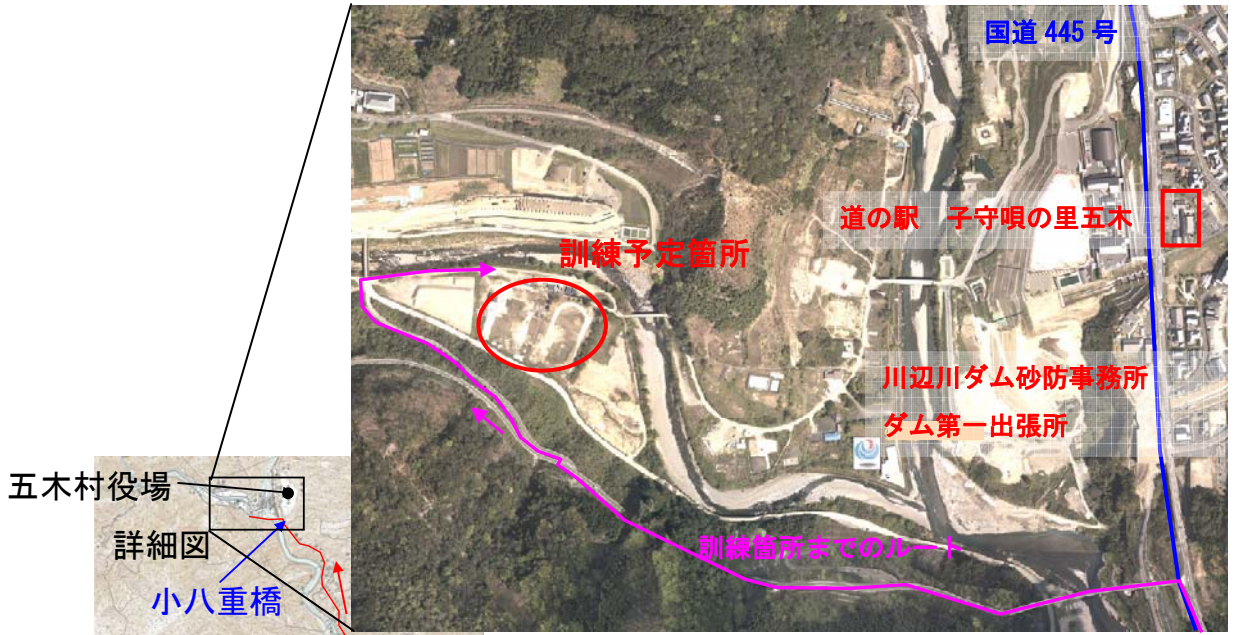
照明車、情報収集車、衛星通信車、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)

## (災害対策車両操作・通信訓練イメージ)

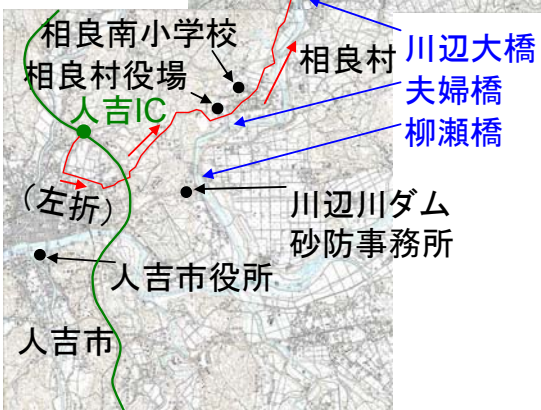


# 災害対策車両操作・通信訓練実施予定場所（詳細図）

至 松橋



至 人吉市内



# 大規模土砂災害に備えた災害対策車両操作・通信訓練

## 1. 訓練の目的

豪雨や地震等で大規模土砂災害が発生した場合に、現場状況の推移を継続的に把握する必要があるため、大規模土砂災害を想定した現場監視訓練を行う。

2. 日時 2/23(木)①13:30~14:30(昼間監視体制)

②17:30~18:30(夜間監視体制)

## 3. 訓練内容

災害対策用機材を活用した監視体制の構築、情報の伝達、及び夜間の体制継続について訓練を行う。現場~事務所~本局間は衛星回線を通じてやりとりを行う。

### 【大規模土砂災害が発生した場合の監視体制イメージ】



# 今回使用する災害対策用機械



## ○情報収集車

四輪駆動の機動性を活かし、災害現場に直接乗り入れて、搭載された画像電送装置、ビデオ撮影装置を用いて調査、情報収集活動を行います。衛星通信車やKu-SATと連携することで、収集した情報を整備局内や関係機関で共有し、速やかな災害対策を可能とします。

## ○衛星通信車

災害により通信手段が断たれてしまうと、被害を最小限に食い止めたり、速やかな復旧活動に支障をきたします。そこで、悪条件下でも信頼性の高い通信衛星を利用して災害現場と九州地方整備局等を結び、スピーディで的確な対応をサポートします。



## ○照明車

夜間や豪雨の中など、悪条件下で行われる災害復旧活動に良好な視界を確保し、復旧活動をサポートします。

照明灯上部の高感度カメラでとらえた被災現場の状況は、衛星通信車やKu-SATで送信できます。

## ○Ku-SAT

小さな車両や人力で運搬できるポータブルな機材でありながら、通信衛星を活用して映像や音声の送信が可能です。このためアクセスの悪い災害現場からもリアルタイムで情報を発信することができます。



## ○気球空撮装置

被災状況を上空から長時間撮影する場合に使用します。空撮画像は衛星回線等を使用して送信することもできます。運搬時には40cm角にたたむことができ、ガスボンベと合わせてワゴン車1台で運搬可能です。